

成田空港における空港業務の人員確保への取り組み ～インバウンド回復とさらなる機能強化への対応～

HP公開用

2024年4月3日

成田国際空港株式会社

執行役員戦略企画室長 片山 敏宏



Narita Airport

Connecting Japan to the World

1. 当面のインバウンド急回復への対応

- ① プラットフォーマーとして空港会社としての積極的な対応
- ② マッチング、新規参入促進、空港合同説明会等

2. 空港機能強化に対応する人員確保対策に向けて

- ① 空港・地域一体となった人員確保
- ② 空港DXの導入による省人化

1. 当面のインバウンド急回復への対応

- ① プラットフォーマーとして空港会社としての積極的な対応
- ② マッチング、新規参入促進、空港合同説明会等

2. 空港機能強化に対応する人員確保対策に向けて

- ① 空港・地域一体となった人員確保
- ② 空港DXの導入による省人化

成田国際空港の施設概要

2022年4月時点



運営主体	成田国際空港株式会社 (株主構成: 国土交通省91.66%、財務省8.34%)	運用時間	※離着陸制限(カーフェュー) A滑走路: 24時~6時 B滑走路: 23時~6時
滑走路	A滑走路 4,000m×60m	ターミナル 処理能力	第1ターミナル : 2,500万人
	B滑走路 2,500m×60m		第2ターミナル : 1,700万人
貨物上屋	貨物ターミナル地区: 155,500㎡ ・上屋9棟(第1~7貨物、輸入共同上屋、日航貨物ビル)		第3ターミナル : 1,500万人 ※2022年4月より
	南部貨物地区: 39,700㎡ ・上屋13棟(整備地区貨物上屋、南部第1~6貨物)		合計 : 5,700万人

日本最大の国際空港としての成田空港



- 成田空港は国際線旅客数で日本最大の空港。羽田の国際化の影響を受けながらも着実に増加。

2000~2019 ACI空港ランキング(国際旅客数)

単位：万人

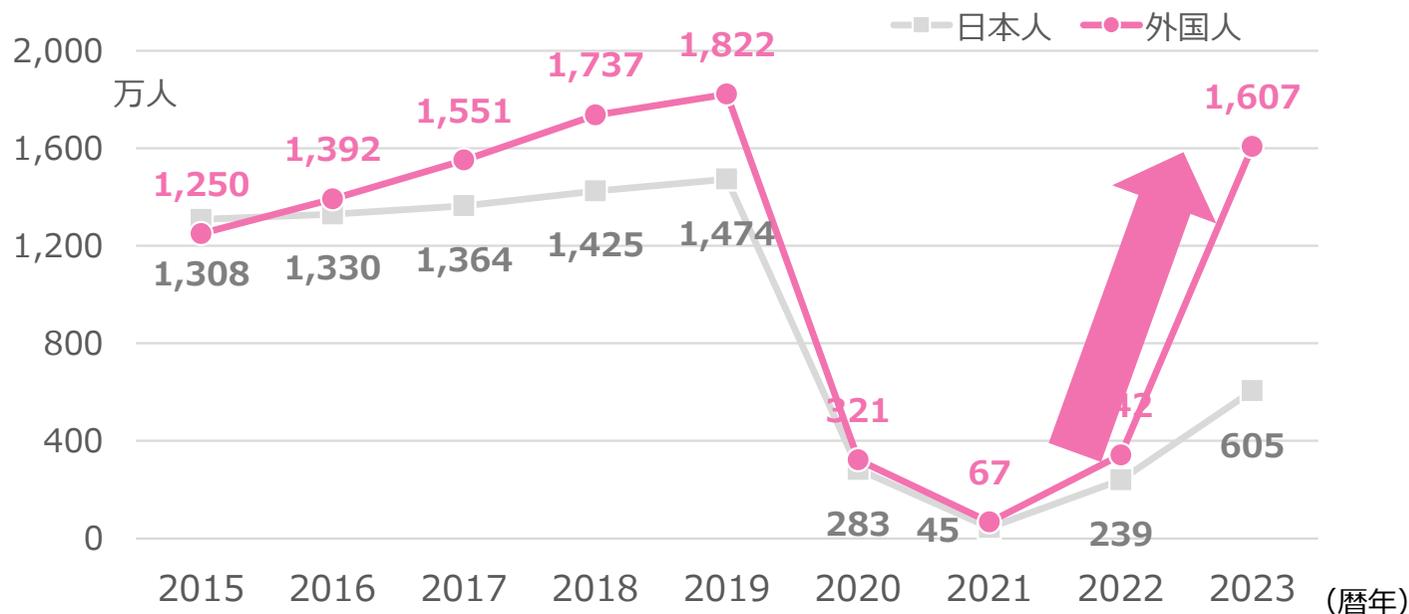
2000年		2005年		2010年		2015年		2019年						
1位	ロンドン(ヒースロー)	5,720	1位	ロンドン(ヒースロー)	6,124	1位	ロンドン(ヒースロー)	6,104	1位	ドバイ	7,801	1位	ドバイ	8,640
2位	パリ(シャルルドゴール)	4,372	2位	パリ(シャルルドゴール)	4,919	2位	パリ(シャルルドゴール)	5,324	2位	ロンドン(ヒースロー)	6,985	2位	ロンドン(ヒースロー)	7,605
3位	フランクフルト	4,056	3位	フランクフルト	4,520	3位	香港	5,035	3位	香港	6,828	3位	アムステルダム	7,171
4位	アムステルダム	3,944	4位	アムステルダム	4,406	4位	ドバイ	4,718	4位	パリ(シャルルドゴール)	6,043	4位	香港	7,142
5位	香港	3,275	5位	香港	4,027	5位	フランクフルト	4,661	5位	アムステルダム	5,828	5位	ソウル(仁川)	7,061
6位	ロンドン(ガトウィック)	2,914	6位	シンガポール	3,243	6位	アムステルダム	4,521	6位	シンガポール	5,545	6位	パリ(シャルルドゴール)	6,988
7位	シンガポール	2,862	7位	成田	3,031	7位	シンガポール	4,204	7位	フランクフルト	5,412	7位	シンガポール	6,828
8位	成田	2,660	8位	ロンドン(ガトウィック)	2,883	8位	ソウル(仁川)	3,308	8位	ソウル(仁川)	4,885	8位	フランクフルト	6,317
9位	バンコク	2,233	9位	バンコク	2,864	9位	バンコク	3,295	9位	バンコク	4,423	9位	バンコク	5,346
10位	ブリュッセル	2,159	10位	ソウル(仁川)	2,576	10位	成田	3,216	10位	イスタンブール	4,201	10位	台北(桃園)	4,869
11位	チューリッヒ	2,137	11位	ドバイ	2,478	11位	マドリッド	3,107	11位	台北(桃園)	3,847	11位	マドリッド	4,499
12位	台北(桃園)	1,868	12位	マドリッド	2,254	12位	ロンドン(ガトウィック)	2,788	12位	ロンドン(ガトウィック)	3,667	12位	クアラルンプール	4,493
13位	ニューヨーク(JFK)	1,857	13位	台北(桃園)	2,170	13位	ミュンヘン	2,537	13位	クアラルンプール	3,476	13位	ロンドン(ガトウィック)	4,313
14位	ソウル(金浦)	1,799	14位	ミュンヘン	1,954	14位	台北(桃園)	2,511	14位	マドリッド	3,383	14位	イスタンブール	3,958
15位	ロスアンゼルス	1,742	15位	ロンドン(スタンステッド)	1,935	15位	クアラルンプール	2,377	15位	ミュンヘン	3,142	15位	ドーハ	3,880
16位	モントリオール	1,661	16位	マンチェスター	1,933	16位	ローマ	2,355	16位	ドーハ	3,101	16位	バルセロナ	3,866
17位	コペンハーゲン	1,631	17位	ニューヨーク(JFK)	1,914	17位	ニューヨーク(JFK)	2,311	17位	成田	3,055	17位	ミュンヘン	3,834
18位	マドリッド	1,628	18位	コペンハーゲン	1,826	18位	チューリッヒ	2,219	18位	ニューヨーク(JFK)	3,008	18位	成田	3,665
19位	マイアミ	1,618	19位	ダブリン	1,780	19位	イスタンブール	2,036	19位	バルセロナ	2,909	19位	ニューヨーク(JFK)	3,432
20位	マンチェスター	1,593	20位	ロスアンゼルス	1,749	20位	モントリオール	1,921	20位	ローマ	2,847	20位	ダブリン	3,281

※ACIデータよりNAA作成

急激なインバウンド回復とグラハン人員の回復

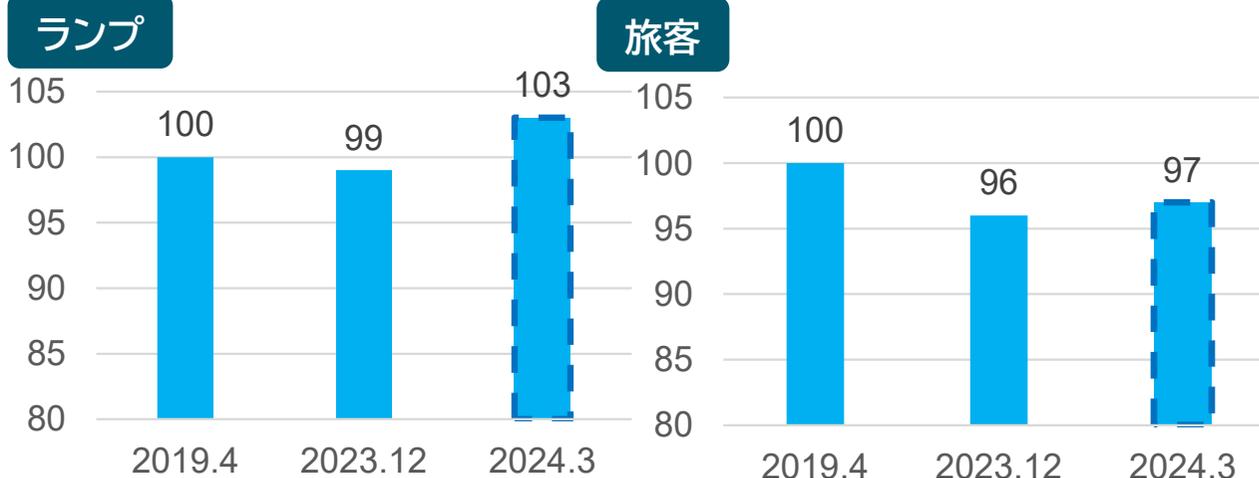
- コロナ禍を経て、インバウンドは急回復。国際線の発着回数については、2019年度の約85%程度まで回復
- グラハン人員については、コロナ前水準まで回復

国際線日本人・外国人航空旅客数推移



GH社の人員状況

※成田空港のグラハン各社からのヒアリングを基に作成
 ※2019.4を100とした場合の数値
 ※2024.3は目標値



- インバウンドの急回復による航空会社からの増便ニーズが急激に高まる中で、グラハン各社において、
 - ① 採用活動をして希望どおりに人員が確保できない
 - ② 業務や教育の中心となる中堅層（30代、40代）を含めて離職が多い
 - ③ 採用後のトレーニングに一定の時間が必要ために、各社単独ではエアラインの要望通りの就航に対し調整に時間を要するケースが生じている。
- そこで、空港全体として、①既存の人員・機材等を最大限活用する、②新たな人員、機材を機動的に導入することが必要
- そのため、①マッチング、②新規グラハン会社誘致、③空港全体の採用活動の活発化を、成田空港会社がプラットフォームとして対応



各社間の応需バランスの最適化(マッチング)

- ✓ グラハン会社の応需能力を随時把握し、空港全体として最大の応需能力が発揮できるように、成田空港会社がプラットフォームとして航空会社との積極的な調整を実施 等



グラハン応需能力自体の強化

- ✓ 新規のグラハン会社誘致、機材の導入促進等による応需能力強化を推進
- ✓ 空港の知名度を活かした空港全体としての採用活動の推進 等

空港全体としてグラハンの応需バランスの最適化(マッチング)

- インバウンド急増により応需バランスが一時的に乱れた昨年9月以降、成田空港会社において、
 - ① グラハン各社の応需能力等を時間帯別に把握し、航空会社の希望に即した応需可能なグラハン会社を紹介
 - ② 必要に応じて、異なるグラハン会社間での協力体制構築を促進 等の役割を積極的に果たしている。

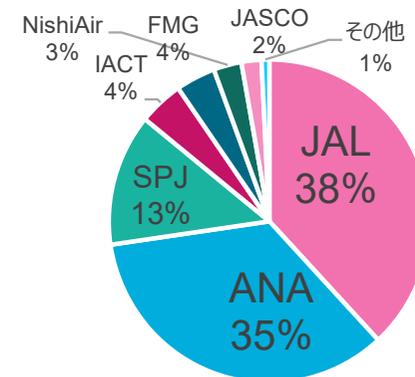
新規就航希望等へのマッチング対応 (昨年9月以降)

- ✓ 昨年9月末に、成田空港会社の調査で、今年度末までの新規就航等の希望が152便に対し、2/3の100便程度しか対応できないことが判明。NAAにおいて航空会社とグラハン会社と調整を実施。
- ✓ 年度末の段階でほぼ希望通りの就航が実現。

グラハン個社の受注困難な状況への対応 (昨年10月以降)

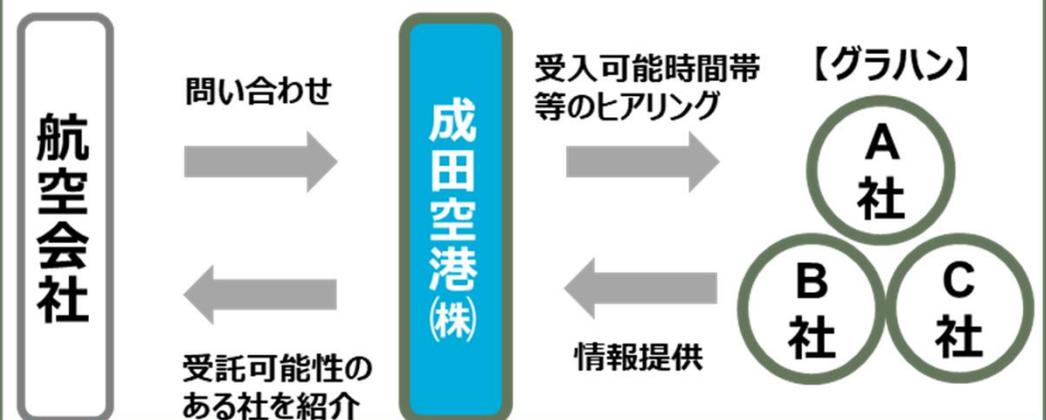
- ✓ 昨年11月にスイスポートジャパン社（成田では便数ベースで13%を占める）の36協定破棄の報道を受け、同社の業務負担軽減等のために、他のグラハン会社の協力を必要としたため、航空局と連携し、NAAにおいてグラハン会社と調整を実施。

【参考】成田空港におけるシェア(ランプ)



※2023年12月運航回数から算出

マッチングイメージ図



新規グラハン社の支援・誘致

- 成田空港においては、グラハン会社は10社（※）であったが、**11社目の会社として、(株)JBSが参入。**
- 同社は、GSE機材等は、昨年12月に石垣島から成田空港へ輸送、人員はコロナで離職していた成田空港での経験者を中心に採用。**成田空港会社としては、企画段階から積極的に誘致し、支援を行ってきたところ。**
- 今年3月中旬より、グランドハンドリング事業を開始し、**既存のグラハン会社では応需が困難であった新規就航について精力的に受託。**

※成田空港内の一次請けを実施するグランドハンドリング事業者

【会社名】	ランプ	旅客
<AL系>		
JALグランドサービス（JGS）	○	○
JALスカイ		○
ANA成田エアポートサービス（NRTAS）	○	○
<独立系>		
スイスポートジャパン（SPJ）	○	○
西鉄エアサービス	○	○
国際空港上屋（IACT）	○	○
日本空港サービス（JASCO）	○	
空港ターミナルサービス（ATS）		○
ワールドエンタプライズ（WEC）		○
FMG		○
JBS	○	○

株式会社JBS （代表取締役 中鉢真輔）

- ・ 同社の親会社の(株)JMRSは空港隣接の芝山町で航空科学博物館敷地内に「空飛ぶ学び舎ラボ」を運営し、地域に密着した航空教育プログラムを展開。
- ・ グラハン業務と同施設の運営とも兼務することで待遇の改善を図っている。
- ・ 今後、同施設でのランプハンドリングの教育・新規参入会社の支援も実施予定。



空港の知名度を活かした空港全体としての採用活動の推進

- 成田空港の知名度を活かし、必ずしも知名度が高くないグラハン会社等に対し、空港に関心の高い就職希望者が壬葉市幕張メッセという集まりやすい場での合同企業説明会の場を提供。
- その際、①午後に成田空港において職場見学会も併せて実施、②成田空港勤務者を主人公にした地域映画の初上映も併せて行い、学生からは「空港業務の大変なところや夢が広がっていくところを映画でみることができ、勇気づけられた」とコメントとともにNHK等の報道等も通じて、来場者以外の方にも成田空港での就職を意識付け。

【合同企業説明会・空港見学会】

開催日時：2024年2月6日

(火) 10:00～16:00 (うち空港見学会12:30～16:00)

開催場所：幕張メッセ

参加企業：計37社 (旅客ハンドリング・ランプハンドリング・貨物ハンドリング・保安検査など)

当日参加者数：305名 (うち空港見学会参加者99名)

報道：NHK、テレビ東京WBS、新聞各紙



【合同企業説明会】



【成田空港地域映画の初上映】



【空港見学会】

1. 当面のインバウンド急回復への対応

- ① プラットフォーマーとして空港会社としての積極的な対応
- ② マッチング、新規参入促進、空港合同説明会等

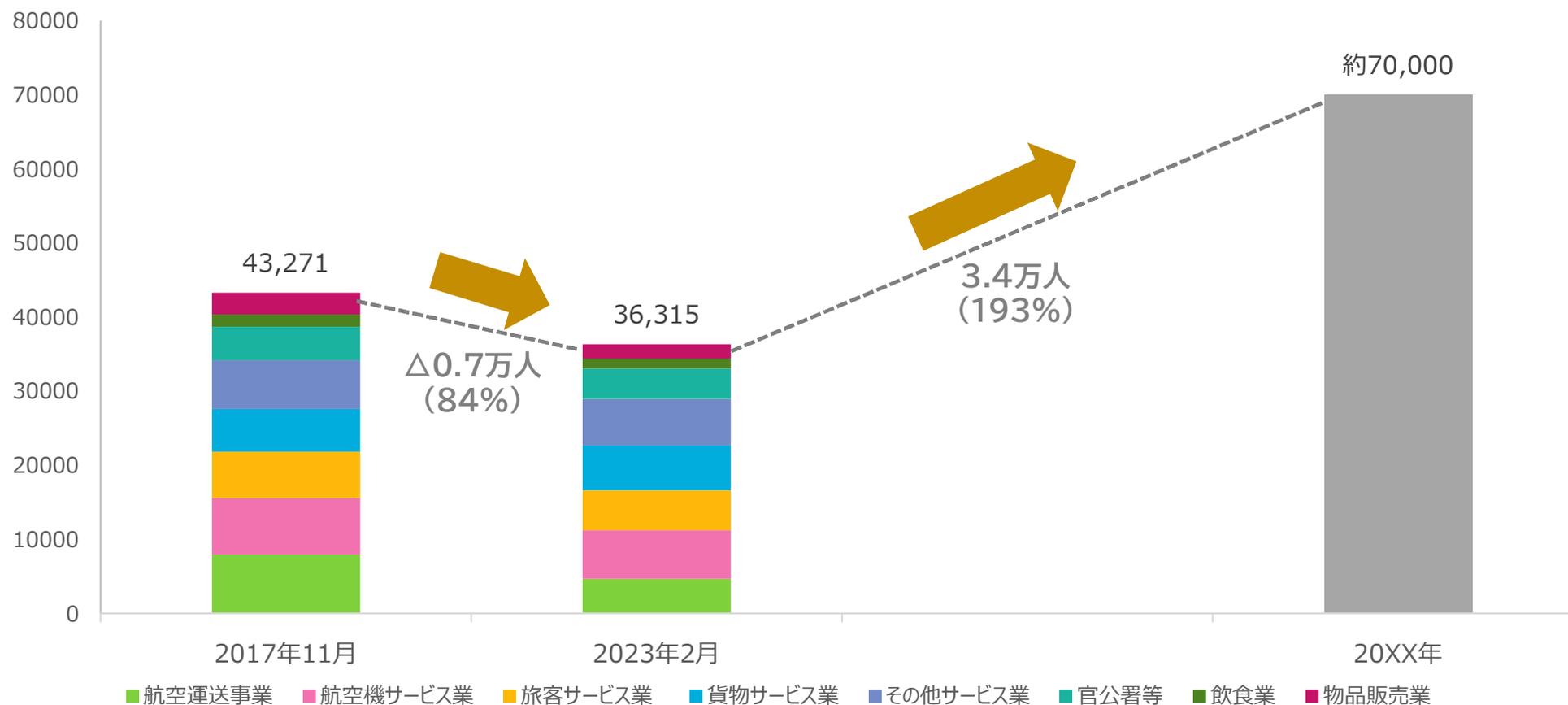
2. 空港機能強化に対応する人員確保対策に向けて

- ① 空港・地域一体となった人員確保
- ② 空港DXの導入による省人化

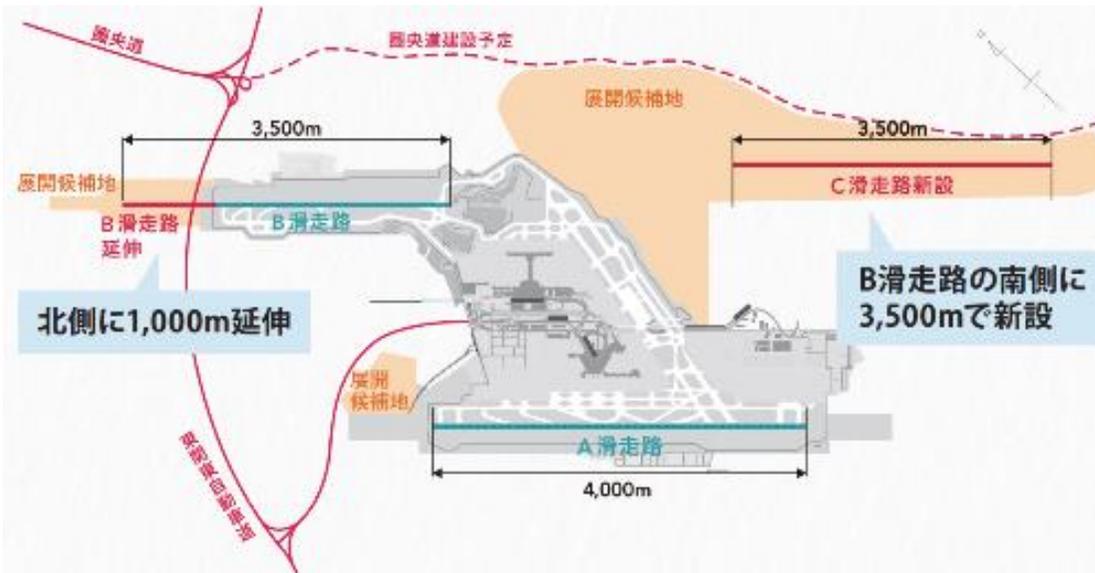
成田空港における労働力の状況と今後の見込み

- 成田空港内の従業員は、4万人前後で推移してきたが、コロナ禍の影響等により、2017年調査時に比べ、約7000人（16%）減少。
- 現行のインバウンド急増対応のみならず、今後の「成田空港の更なる機能強化」に対応するため、現状の約2倍（7万人程度）の空港従業員の確保が課題。 <参考> 成田市人口 13万2076人（令和6年2月末）

■ 成田空港内従業員実態調査結果



成田空港の更なる機能強化



年間発着枠の増加

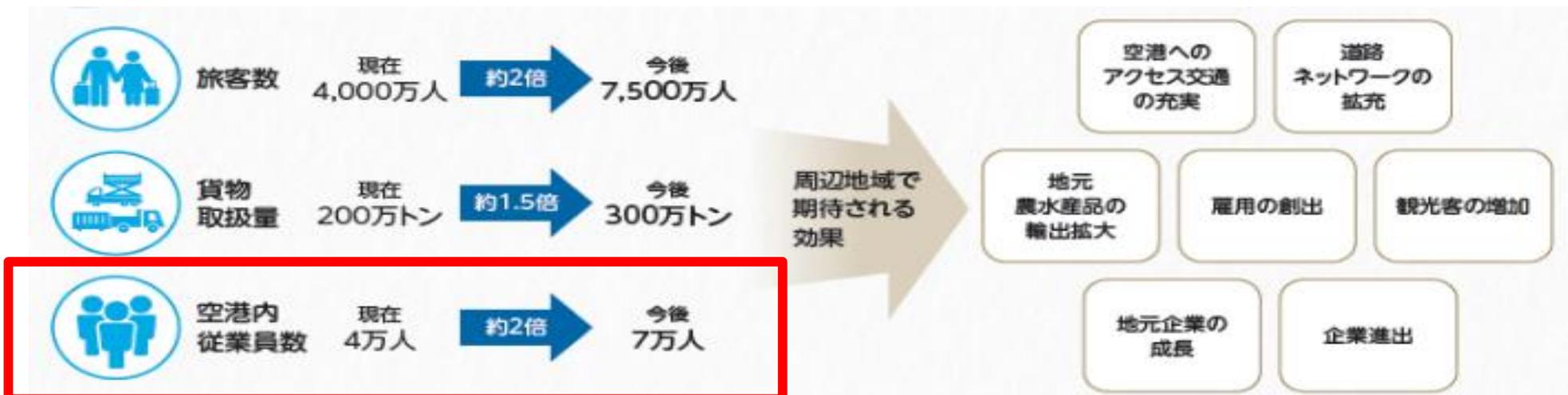
30万回→50万回

滑走路の延伸・新設

B滑走路延伸: +1000m
C滑走路新設: 3500m

運用時間延長

6時～24時(2019Wから)
5時～24時30分(C滑走路供用時)



労働力確保に向けた推進体制

- 現行のインバウンド需要増対応のみならず、「更なる機能強化」に対応する7万人程度の空港従業員の確保に向けて 成田空港会社は空港のプラットフォーマーとして、空港一丸となって課題解決に取り組む。
- そのために、社長を本部長とする、部局横断の「空港人材対策本部」を先月新設し、①空港と地域が一体となった人員確保、②従業員の受け皿となる周辺地域の居住環境、空港内での待遇改善、③自動化・省力化等の検討を深めていく。

空港人材対策本部（令和6年3月～）

社内

空港業務に従事する人材は、成田空港の価値創造の源泉であることから、社長を本部長とする本部体制の確立を通じ、これを支えるための雇用促進、就労環境改善、イノベーション推進による自動化・省力化等の諸施策に、全社を挙げて主体的かつ迅速に取り組む。

- ✓ 本部長：社長、
- ✓ 副本部長：副社長、
- ✓ 本部員：取締役及び執行役員

成田空港出入国体制強化WG

空港内

グラハン・保安検査事業者やCIQ 職員の人材不足の課題をはじめ、空港における諸手続きや動線、諸業務にかかる課題と対応計画を策定すべく、空港関係者が参画し、成田国際空港出入国体制強化に取り組む。

- ✓ CIQ、気象、成田空港事務所（官署）
- ✓ 成田AOC（航空会社）
- ✓ FAL、GOSC（グランドハンドリング）
- ✓ SSC（保安検査）
- ✓ JR東日本、京成電鉄（鉄道）
- ✓ 東京空港交通、京成バス、WILLER EXPRESS、ビー・トランセ（バス）
- ✓ 成田国際空港タクシー運営委員会（タクシー）

- 発着回数の50万回達成時の人員は約7万人が必要。この人員を確保し、空港周辺地域に居住すれば、空港のみならず、空港周辺地域も大きな発展を遂げることになる。
- そこで、①空港と地域が一体となった人員確保、②従業員の受け皿となる周辺地域の居住環境、空港内での待遇改善、③空港DX推進により自動化・省力化等の検討を深めていく。



空港・地域一体となった人員の確保

- ✓ 空港地域への居住の促進、地域の移住促進政策との連携



居住環境、待遇改善

- ✓ 従業員の受け皿となる周辺地域の居住環境、空港内での待遇改善 等

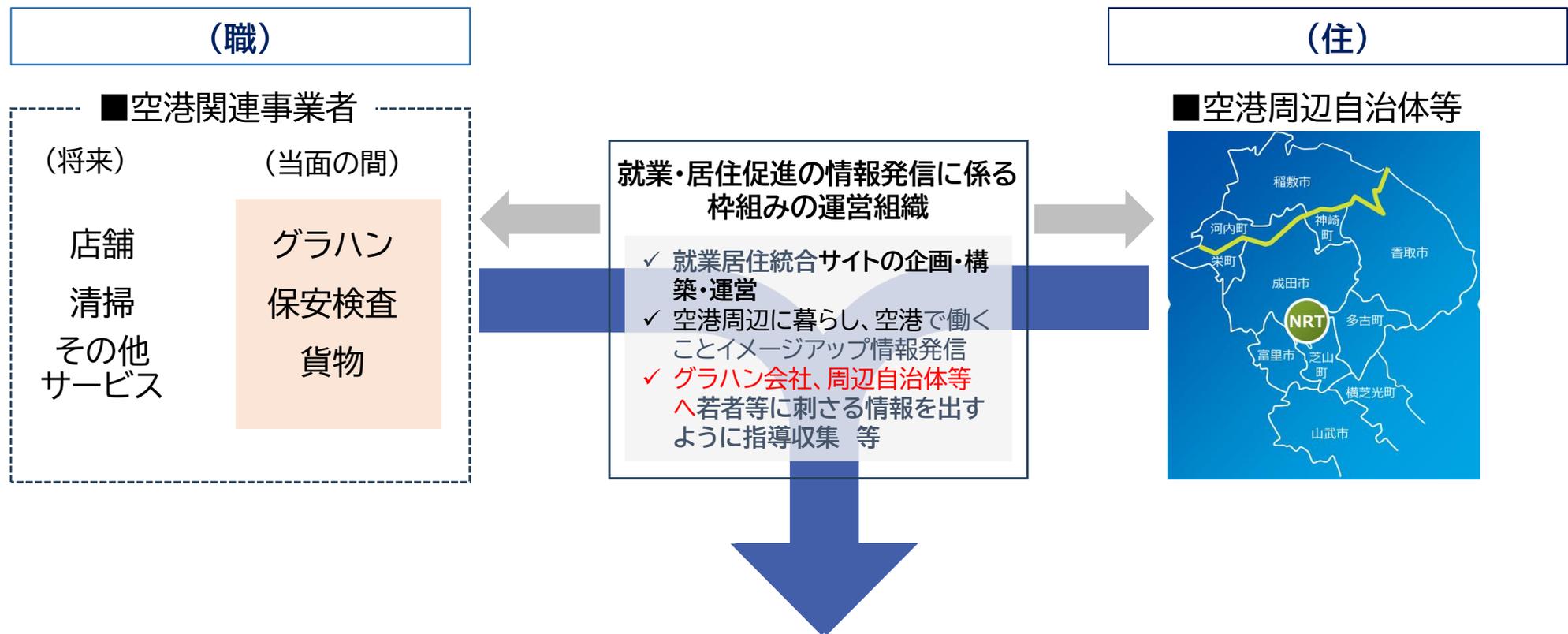


空港DX推進による自動化・省人化

- ✓ 自動化を推進し、省人化を図る

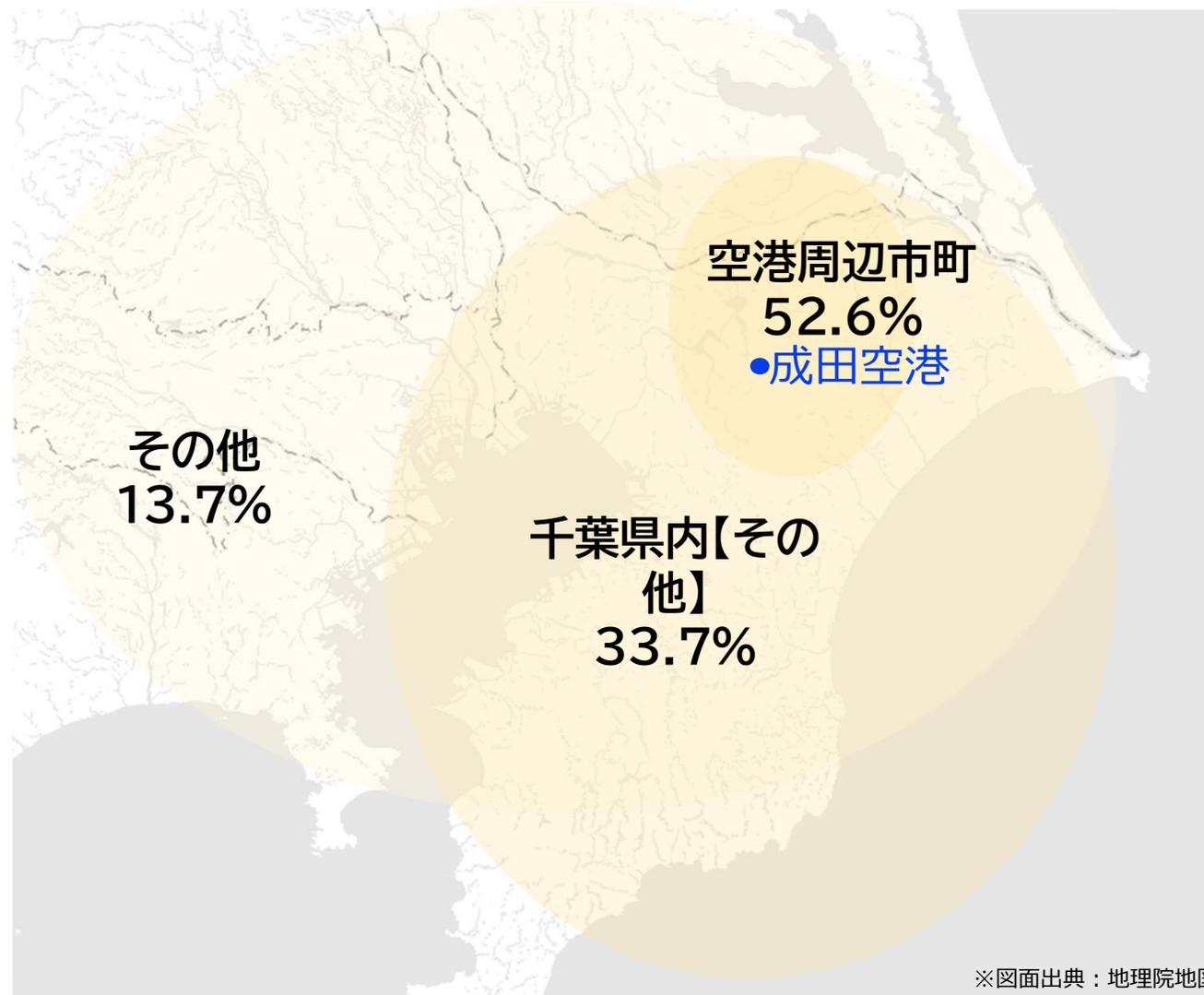
地域と空港が一体となった人員確保の枠組みの構築

- 人手の確保にあたり、空港周辺地域への移住促進は、空港業務の特殊性（シフト勤務、危機管理等）、空港周辺地域が抱える人口減少・高齢化対策の観点からも必要。
- そこで、①「空港管理者」がプラットフォームとして、②「グラハン会社等」と「周辺地域」が連携し、③周辺地域に若い世代を呼び込み、「空港で働き、周辺に住んでいただく」ことを推進する枠組みが必要。



空港地域外の求職者・移住者への発信【ターゲット層：20代～30代】

- 空港従業員の居住地は、近隣市町で約53%、近隣市町を除く県内で約34%、その他で約14%



※空港周辺市町・・・成田市、富里市、香取市、山武市、山武郡芝山町、横芝光町、香取郡多古町、神崎町、印旛郡栄町、茨城県稲敷市、茨城県稲敷郡河内町

成田空港就業・居住統合サイトの立ち上げ

- 今年3月に、以下のコンセプトで「成田空港就業・居住統合サイト」を立ち上げ、「空港で働き、周辺に住んでいただく」ことを推進する。
- ✓ 空港の仕事や働き方、成田空港の将来像など、成田で働くことの“やりがい”や“楽しさ”を伝え、周辺のライフスタイルについて「成田空港で働き、周辺に住む」イメージを喚起する。（「空港の職場・地域イメージアップ」）
- ✓ グラハン会社等から採用条件、住居補助等の採用情報、自治体から住居・子育て等の空港周辺居住を促進する情報を集約（「若者に刺さる就業・居住情報の集約」）

「採用統合サイト」のコンセプト

空港での仕事の情報

空港周辺での生活情報

NRTで働くことの“やりがい”や“楽しさ”を伝えるとともに、周辺のライフスタイルも発信し、「成田空港で働き、周辺に住む」イメージを喚起する

<福岡空港の例>



<福島被災地の例>



各グラハン会社等の採用条件等の情報

・給与等、周辺居住の住居補助の嵩上げ等の採用情報等

自治体の住居・子育て等の空港周辺居住促進の情報

・地域への居住促進補助、学校、保育園等の情報 等

ウェブサイト



国際線の利用者数、国内 No.1

世界と日本をつなぐ仕事。

空港にある色々なお仕事

3.6万人超が働く成田空港には、様々な仕事があります。

案内 保安検査 警備 民間・入管・検疫
清掃 荷物取扱い サービス 航空管制
航空貨物スタッフ 機内食 整備士 駐在
パイロット CA (キャビンアテンダント)

Pick Up! **Pick Up!**

客席のサポートスタッフ
客席のサポートスタッフとして、お客様をサポートします。

機内食の配付
機内食の配付を担当し、お客様に笑顔でサービスを行います。

Interview

定時運航を支える グランドハンドリングを知る

新卒がキャリアアップできる環境
新卒からキャリアアップできる環境です。

女性も資格を生かして活躍
女性も資格を生かして活躍できる環境です。

FAQ

よくあるお問い合わせ

高経歴者での採用はありますか？
機内食の配付はどのような仕事ですか？
機内食の配付はどのような仕事ですか？
CA (キャビンアテンダント) の仕事はどのような仕事ですか？
入社後に必要な資格はありますか？
機内食の配付はどのような仕事ですか？
CA (キャビンアテンダント) の仕事はどのような仕事ですか？

成田空港で働きたい人を採用する企業をチェック

※採用している企業は随時更新されています

カゴロー 株式会社JALスカイ	カゴロー SKYマークス・エアサービス株式会社	カゴロー マイナビ空港サービス
カゴロー JALスカイ	カゴロー サンヨーエアサービス	カゴロー マイナビ空港サービス
カゴロー AKS-GH	カゴロー swissport	カゴロー ANA 航空サービスセンター

Reside

成田空港周辺で、暮らす

成田国際空港周辺は、住環境も充実！

成田空港周辺の地域情報をチェック

※詳細は、各都道府県のホームページをご覧ください。

成田市 成田国際空港までのアクセス 成田市の概要 成田市の人口 成田市の面積	多古町 成田国際空港までのアクセス 多古町の概要 多古町の人口 多古町の面積	芝山町 成田国際空港までのアクセス 芝山町の概要 芝山町の人口 芝山町の面積
---	---	---

- 今後増加するグラハム職員等が、緊急時の参集等の観点から居住の有力な選択肢となりうる空港周辺地域（成田市三里塚地区）との交通手段改善が必要。
- 成田空港会社は、今年3月に、空港周辺地域と連携し、これまでは使用されてこなかった空港内道路を活用して空港の内外を結ぶ公共交通機関の可能性について検討する実証実験を行い、当該道路を通過するにあたっての手続き、時間短縮効果等を確認。
- 交通手段改善の検討のキックオフと位置付け、今後検討を深めていく。

【実証実験概要】

今年3月、成田空港会社は、地域の有志等と連携し、空港の将来を担う地元の子供達に、成田空港で働き、地元に住み続けたいという気持ちを持ってもらうために、成田空港に最も近い地域であり、空港勤務者も多く居住する成田市三里塚エリアを舞台に、児童養護施設「蛍雪学園」の児童を招待。

- ①三里塚在住の航空写真家チャーリー古庄氏によるヘリコプターの仕組み説明・体験フライトのほか、
- ②ジンギスカン発祥の地「御料牧場」の歴史ある三里塚の地にてジンギスカンの昼食会を実施、
- ③成田空港のお仕事を、空港内道路を經由して、スペシャルバスツアーにて見学し、
- ④成田空港・地域を題材とした映画「空の港のありがとう」等を鑑賞。



人材確保、待遇・環境改善へ向けた実験的な取り組み

- 成田空港におけるグラハン人員の確保対策の実行にあたっては、
 - ①知名度が必ずしも高い業種ではなく、情報発信が難しいこと
 - ②従業員は空港周辺地域の住民で、地元経済を支える重要な産業と地域に十分に認識されていないこと
 - ③要員の多くを占める20～30代は離職も多い状況で、
 - ・人材の入れ替わりの激しい職場でのスムーズなチームワーク造成
 - ・言語の壁がある外国人社員も増える中での一体感の造成
 - ・若手社員の職場への愛着感の造成による離職防止が必要 等の諸課題がある。
- これらの課題解決に向けて、空港会社を中心に、地域や関係者の連携しながら、実験的な取り組みを進めている。

地域と連携した映画による空港業務の魅力発信

- ✓ コロナ禍により空港・航空業界のイメージが崩れ人手不足になったところ、成田出身の監督により、空港地上業務従業員にフォーカスした映画を制作
- ✓ 空港周辺に住み、空港で働くことの意義・魅力を発信
- ✓ 製作：成田空港地域映画製作委員会、吉本興業(株)
協力：NAA、ANA、JAL、グラハン・保安検査各社等



e-sports大会

- ✓ 空港内従業員の交流促進を目的として、2023年11月に実施。
- ✓ 約30人の若手社員が選手として参加、イベント全体では約200名が会場に訪れた。
- ✓ 参画企業：空港ターミナルサービス(株)、(株)セノン、全日本空輸(株) 日本航空(株)、NAA



空港DX①(ランプハンドリング)

- ランプエリアやターミナル内においてロボットの活用や自動化の促進を実施している。



【実証実験中】



＜自動装着機能付搭乗橋＞



＜自動運転トーイングトラクター＞
※写真提供：日本航空株式会社



国内空港初、成田空港でローカル5G等を活用した自動運転バス実証を実施。(ランプエリア内)
労働人口減少等に対応した無人自動運転サービスの実装を目指す。



＜警備ロボット＞



＜清掃ロボット＞

空港DX②(旅客ハンドリング)

- 旅客ハンドリングにおいても搭乗手続きのセルフ化であるFast Travelは省人化への寄与度が大きい。
- これまで、補助金の支援をいただきFast TravelやFace Express整備を進めてきた
- 今後は、①主に自動手荷物預け機や自動搭乗ゲートを増設し、スタッフの省人化を図り、②あわせて、現在、利用各社で配置している自動手荷物預け機に係る案内要員をコモン化し、省人化を図る。



- 成田空港においては、急激な需要の回復に伴って、特にグラハンについて、昨年秋の時点では就航希望の2/3程度しか応需の見通しが立たなかったが、マッチング、新規グラハン会社の誘致等を通じて、ほぼ需要に応えることができた。
今年の夏ダイヤにおいても、現段階ではほぼ需要に応えられる見込み。引き続き、需要に応えるべく全力で対応していく。
- さらに、空港機能の強化により、空港の就労者は現在の約2倍の約7万人が必要。成田空港は、国内最大の国際空港として、今後増大するインバウンドをしっかりと受け入れ、全国の地域につなげていく重要な使命。人員確保においても、成田空港は全国の空港に率先して取り組んでいく必要がある。
- これまでも、成田空港会社は成田空港におけるプラットフォーマーとして、空港合同就職説明会や、様々な機器の自動運転の実証実験、従業員同士のeスポーツ交流会など取り組みを進めてきたところ。
- その上で、①空港での業務に従事する方々の雇用促進や就労環境改善のためにグラハン会社等と連携して実態の把握に努めながら取り組むこと、②空港周辺における居住環境の向上も地域と連携して進めていくこと、③自動化・省力化なども含め、成田空港会社で組織横断的に連携を密にして取り組むこと、等に留意しながら、主体的かつ迅速に進めていく。

(参考)地域と連携した映画によるグラハン業務の魅力発信

○ 主体

製作：成田空港地域映画製作委員会
吉本興業株式会社

協力：成田国際空港(株)、航空会社、
保安検査会社等

○ 名称

成田空港地域短編映画「空の港のありがとう」

映画予告編：<https://youtu.be/xhrhaD-2wG8?si=8mALw5DK7YaMknT3>



○ 内容

- 令和5年9月から監督がグラハン・保安検査要員30人に取材、脚本執筆着手。地元の経済界が制作費集めに着手。
- 10/28～30の3日間で、空港内・成田市内
- 1月中旬に映画完成
- 2月6日 成田空港合同企業説明会（千葉市幕張メッセ）で初公開
- その後、空港勤務者、市民等への上映会を経て、4月、第16回沖縄国際映画祭に出品、5月に一般公開を地元成田及び東京にて行う。



○ 導入の背景

- 長らく憧れの職場であった成田空港も、コロナ禍でグラハン・保安検査を中心に深刻な人手不足に陥る。
- そこで、テレビ朝日ドラマ「おっさんずラブシリーズ」の監督も務める成田出身のYuki Saito氏に監督をお願いし、コロナで疲弊した空港・航空会社を地域が助けるために、有志の呼びかけに応えた地域の経済界等が制作費を全額負担して、航空業界でも主人公になりにくい空港地上業務従事者をメインに据えた映画を企画。
- 「空港地上職員は地域の住民であり、グラハン・保安検査は地元の経済を支える重要な産業」ということを地域に再認識いただき、新たに働く人に対して、空港地域に住み、空港で働くことの意義を感じ取ってもらうことを目的とした。

○ 実績（波及効果）

- 9月の製作開始会見、10月の撮影の時にも地元の新聞ほぼ全紙、NHK等テレビでも報道あり。
- 2月6日「成田空港合同企業説明会」の初上映でも、学生からは「空港業務の大変なところや夢が広がっていくところを映画でみることができ、勇気づけられた」とコメントとともに全紙、NHK等の報道があった。
- 地元ケーブルテレビと連携して、撮影を密着した番組も制作し、映画に合わせて放映することで、空港・地域におけるグラハン問題の重要性が浸透する「きっかけ」となっている。
- 今後は、空港・航空業界を挙げたグラハン問題の普及啓発のコンテンツとしての活用を働きかけていく。

○ 主体

成田国際空港(株)、空港所在各社（JAL、ANA、セノン、空港ターミナルサービス）

○ 名称

eスポーツを活用した空港内従業員の交流 促進によるグラハン等人材の確保

○ 内容

- ・令和5年11月に、実証実験の位置づけで、成田国際空港(株)の旗振りで、JAL、ANA、セノン、空港ターミナルサービスが参画し、各社の垣根を越えて抽選でチームを結成、トーナメント方式で、サッカーゲームを使用。
- ・外国人社員も含む各社の約30人の若手社員が選手として、各社の管理職等観客を含めるとイベント全体では約200名が会場に訪れ、これまで類を見ない熱狂が会場に生まれた。



○ 導入の背景

- ・グラハン及び保安検査要員の約7割を占める20～30代の人材確保が急務とされつつも、採用も困難、離職も多いという厳しい状況の中、①人材の入れ替わりの激しい職場でのスムーズなチームワーク造成、②言語の壁がある外国人社員も増える中での一体感の造成、③若手社員の職場への愛着感の造成による離職防止を目指して、各社において模索していたが、打ち手に苦慮していた状況。
- ・そこで、成田国際空港(株)がプラットフォームとして、参画企業（4社）と所属組織を跨いだ現場の若手を中心とした検討チームを設立し、現場の若手のニーズに合った対策を検討する中で、若手や外国人も短時間で一体感が醸成できるeスポーツの活用のアイデアがでて、その効果について実証実験を開催することになった。

○ 実績（波及効果）

- ・地元の新聞、NHK等テレビでも報道あり、特に民放では全国放送もされ、グラハン職員の離職防止は若手のニーズに沿った新しい発想が必要なことを広く認識いただいた。
- ・今後は、①参加職場の拡大、②各職場での日常からの活動促進につながる仕掛けづくり、③同様の悩みを持つアジアの国際空港と交流戦等の新たな形での実現に向け現在調整中。